

1つでも当てはまる経営者の皆様はぜひご参加下さい！

- ✓ 事業計画申請前に 取得すべき加算を知りたい。
- ✓ 来年度は今年度よりももっと経営状態(収支)良くしたい。
- ✓ 最近の制度変更やルール of 厳格化についていけない
- ✓ 月次報告と、概算交付申請の乖離が大きい
- ✓ 企業主導型保育事業で出た利益分を上手に活用していきたい。
- ✓ うちの保育事業の経営状況が、他と比較して適性なのかを知りたい。
- ✓ 一度経営が適切か外部の目で確認したい。
- ✓ 昨年・一昨年も参加したが、最新分析レポートも欲しい。

企業主導型保育事業者向け 収支改善セミナー

※全日程とも内容は同じです。
ご都合のよい日程をお選びください。

オンライン開催

2022年11月24日(木) 13:00~15:00 (ログイン開始12:30~) 申込期限 11月20日(日)

2022年11月29日(火) 10:00~12:00 (ログイン開始9:30~) 申込期限 11月25日(金)

2022年12月2日(金) 16:00~18:00 (ログイン開始15:30~) 申込期限 11月28日(月)

2022年12月5日(月) 13:00~15:00 (ログイン開始12:30~) 申込期限 12月1日(木)

※オンラインミーティングツール「Zoom」を使用いたします。Zoomご参加方法の詳細は「船井総研 Web参加」で検索

受講料 一般価格 10,000円(税込11,000円) / 1名様 会員価格 8,000円(税込8,800円) / 1名様

講座	セミナー内容
第1講座	企業主導型保育事業の現況と未来予測 企業主導型保育事業の最新トレンドと今後の運営に於けるポイントについて専門のコンサルタントが解説いたします。 保育園、幼稚園、認定こども園、企業主導型保育事業の活性化及び、認可保育園や放課後児童クラブの公募・プロポーザル・開設支援を実施。中小企業／法人から大手企業までのM&A等の保育事業参入から事業安定化等の支援などを経験。近年では数多くの自治体の保育政策支援を行う。 株式会社船井総合研究所 保育グループ マネージャー 堀内 顕秀
第2講座	緊急見直し! 収支改善によって安定的に継続できる園運営! 250件以上の企業主導型保育園の開設・運営コンサルティング実績に基づき、収支改善・運営安定化のポイントを解説いたします。 認可保育園・企業主導型保育園等の保育関連事業を営む法人様の事業開発・施設展開を推進するチームのリーダー。保育園の採用・定着・園児募集・ブランディングに加え、企業主導型保育事業や児童発達支援事業等の開設・運営支援等、幅広いテーマでコンサルティングを行う。 株式会社船井総合研究所 保育グループ 保育事業開発チーム リーダー 児玉 梨沙

お申し込み方法

Webのお申込は、QRコード読み込みが簡単です!

スマホ・タブレットの方は、右記QRコードを読み込んでいただくとお申込フォームにアクセスできます。

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索してご確認ください。

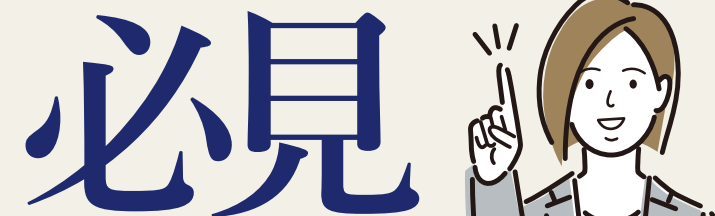
セミナー情報をWebページからもご覧いただけます!

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/092248>

TEL:0120-964-000(平日9:30~17:30)



企業主導型保育園を 設置・運営する全事業者



令和5年度 事業計画申請前にぜひ受けていただきたい毎年恒例の人気企画を今年も開催!

／令和4年度版 新ルール対応／

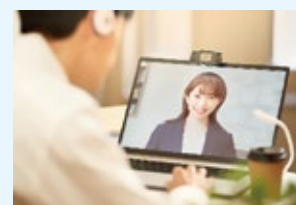
企業主導型保育事業 収支改善セミナー

セミナー参加者全員に
個別アドバイス付き 収支改善簡易診断レポート贈呈

11,000円(税込)のご参加料金で

※弊社会員様は8,800円(税込)

1. セミナー受講 (ZOOM)



明日から使える現場の生の事例から、船井総合研究所で蓄積されたノウハウや最新情報をセミナーでたっぷりお伝えします。ご都合の合う日にご参加ください。

2. 収支改善 簡易診断レポートお渡し (希望者のみ)



貴園の昨年度完了報告の分析結果と専門のコンサルタントによるコメント付き「収支改善 簡易診断レポート」をお渡しし、個別の問題点を洗い出します。

3. コンサルタントへ経営相談 (希望者のみ・オンライン または ご来社にて)



「収支改善 簡易診断レポート」の結果と、地域や保育サービスの実情を踏まえ、セミナーやレポートから更に踏み込んだ個別具体的なアドバイスをお伝えいたします。

以上3点をご提供!

※「収支改善 簡易診断レポート」では人件費状況が一目でわかる独自の指数「人件費適格判定」を含む各種指標が入っております。また、園児が一時的に減ったり、災害等で建物修繕が必要になったりした際に、必要な剰余金の積み立て度合いも確認できます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、および関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

PC・スマホで
セミナー参加!

2022年11月24日(木) 13:00~15:00 (ログイン開始12:30~)

2022年11月29日(火) 10:00~12:00 (ログイン開始9:30~)

2022年12月2日(金) 16:00~18:00 (ログイン開始15:30~)

2022年12月5日(月) 13:00~15:00 (ログイン開始12:30~)

申込は
こちら



主催



明日のグレートカンパニーを創る

Funai Soken

株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

企業主導型保育事業者向け 収支改善セミナー

お問い合わせNo. S092248

船井総研
セミナー事務局

E-mail: seminar271@funaisoken.co.jp

※お問い合わせの際は「セミナータイトル・お問い合わせNO・お客様氏名」を明記の上、ご連絡ください

Webからお申し込みいただけます。(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp] 右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。)

092248

1

企業主導型保育所は今後どうなる!?現況分析と未来予測

企業主導型保育事業の制度が開始して7年目に突入し、**認可保育所施設数の1割超に匹敵する4,497もの施設**がごさいます。令和4年4月1日時点の待機児童数は2,944人、企業主導型保育事業が開始した平成28年4月の待機児童数が23,553人だったのでこの6年間で**待機児童数は実に10分の1まで減り**、保育業界を取り巻く環境は大きく変わりました。

地域によっては認可保育所でも0歳児の申込が減少し、定員割れも一部深刻化する等、待機児童0時代の兆しも見える中で、**企業主導型保育所の経営者の皆様にはぜひ知っておいていただきたい保育業界の現況と今後の予測**についてお話しします。

2

企業主導型保育所の経営で必ず押さえるべきポイントを網羅的に解説

令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の流行で保育現場は相当な負担があった一方で、休園・登園自粛時にも助成される等、**保育事業は軌道に乗りさえすれば【安定的な収益】が望める事業**です。

一方で開所日数・開所時間に関する定義が明確化され、週6日開所予定が週5日開所扱いとなつて助成金が20%とカットされたり、13時間開所の助成金を受け取っていたものが、11時間開所扱いとなつて5万円/人前後助成金が減ったり、園児数・職員数は目論見通りにも関わらず**見込んでいた収入が得られないケース**も多く伺っております。

また、19名以下の小規模な保育所が大半を占める企業主導型保育所において、職員が急遽お休みになることによる**人手不足のリスク**ももちろんありますが、児童の進級に伴い必要保育士数が大きく変わり、それに伴って助成金収入も減ってしまった結果、**潤沢な職員数が経営を圧迫してしまうリスク**も同時にございます。

それに対する対応策も同時に安定的な運営の為には非常に重要です。

例年のスケジュール通りですと令和5年1月から令和5年度分の事業計画申請が開始します。

令和5年度の**基本分単価に関わる基本設計や、加算の改廃等を決めることができる年1回のチャンス**です。

この機会に今一度園運営を見直し、来年度の安定運営に向けて検討すべき事項について網羅的に解説しつつ、年明けから次年度開始までに集中的に取り組んでいたいただきたい園児募集や職員採用のポイント、また安定運営できているからこそ悩ましい利益分や積立分の活用ポイントについてもお話をさせていただきます。

大好評！収支改善 簡易分析レポート



昨年度も多数のお申込みを頂き、好評を博した「収支改善 簡易診断レポート」を今回も贈呈!

希望者全員に、200件を超える保育園の実会計データと、500件を超えるシミュレーションを元に、保育園に於ける収支に大きな影響を与える指標及び弊社独自の指数を導き出して開発した、「収支改善 簡易分析」を行います。最新の分析レポートは過去分からさらに改良を重ねましたので、過去作成させていただいた方にもより詳細なレポートが出せると確信しております。

さらに、専門のコンサルタントとの個別経営相談にて、個別の事情を踏まえた具体的な解決策をご提案します。

貴園の経営改善、そして運営安定化のためにぜひ本セミナーをご活用ください。

(1申込につき、1園分のレポートを作成します、複数園分のレポートを作成を希望される場合は 希望される園数分申してください。)

セミナー参加者の声(一部抜粋)

- 年々変わる制度などの内容を知ることができてとても参考になりました。
- わかりやすく、改めて見直しをしてより良い保育園づくりをしたいと思います。
- 助成金をよく理解したかったこと、安定した運営に繋がることはどんなことかという悩みがありましたので、参加させていただいたことで沢山のヒントをいただけたと思っています。
- 福利厚生的にやっていた事業であったので、あまり深掘できていなかったが、色んな工夫ができることが理解できた。
- 収支に関してあまり重視していなかったため、勉強になりました。更には簡易分析レポートがありがたいです。
- 先日はセミナーの受講、収支改善レポートの送付と、色々ありがとうございました。とても参考になる内容ばかりで、これからの園経営に活かさせていただければと思います。

収支改善 簡易分析レポート内の指標 一部紹介

人件費適確判定

保育所に於ける最大の支出は人件費。園の設計・園児数に対して入ってくる補助金をどの様に配分するかで保育所の収支は変わります。健全運営が出来る人件費を100とした場合の当該保育所の人件費がどの位なのかを指標で表示します。

補助金比率

保育所は補助金が運営資金のメインになりますが、補助金以外の収入をいかに増やすかも収入総額を増やす方法の基本となります。